			1 - <del></del> -11¢ -	. 4			<b>当号</b> 新3		
	7	平成30年度行	「此事業し	<u> ノビュ・</u>	<u>ーシート</u>	(	国土3	交通省	)
事業名	相互交流の拡大に向けた若者の	海外体験促進事業	担当	部局庁	観光庁			作月	成責任者
事業開始年度	平成31年度 事業	<b>終了</b> ) <b>年度</b> 平成325	丰度 <b>担</b> :	当課室	参事官(旅行	·振興担当)		永井 一浩	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推進基本法第18	<b>条</b>		系する 通知等		国推進基本	計画、未来		ン実現プログラ 018、経済財政
主要政策・施策	観光立国		主	更 <b>経費</b>	その他の事	項経費			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	「ツーウェイツーリズム」を促進の拡大及び観光産業の発展に査、効果的な旅行形態の調査をようにする。	必要な人材の確保を推進等を踏まえた海外旅行の	進する上で極め モデル創出を行	て重要であれ、その原	る。このため、	苦者の海外体 けることにより	験を効果的に、より多くの若:	促進するため 者が豊かな海	の若者の意識調 外体験を享受でき
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	次代を担う若者の「海外体験」のモデル創出を行う。	の促進を通じて、各国との	)相互交流をさ	らに拡大す	るため、若者の	<b>意識調</b> 査、効	果的な旅行形	態の調査等を	踏まえた海外旅行
実施方法	委託・請負								
		27年度	28年度		29年度		30年度	3.	1年度要求
	当初予算	-	-		_		_		50
	補正予算	-	_		_		-		
	予算  前年度から繰越し  の状   羽ケ海・縄は	-	_		-		_		-
予算額・	況 翌年度へ繰越し	-	_		-		-		
<b>執行額</b> (単位:百万円)	予備費等	-	_		-		-		
	計	0	0		0		0		50
	執行額	0	0		0				
	執行率(%)	-	_		-				
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合(%)	-	_		-				
	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要	求	主な増減理由				
	諸謝金	-	0.2	-					
平成30·31年度 予算内訳	職員旅費	-	0.1						
(単位:百万円)	観光振興調査費	-	49.7						
	計	-	50						
	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
成果目標及び 成果実績		出国者数に占める若る	成果実績	責 %	-	_	-	-	-
(アウトカム)	出国者数に占める若者(20 代)の割合の増加	割合(初期値:平成29		<u> %</u>	-	-		-	20
		17%)	達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	データ名   法務省人国官理局「日本人田国名剱」							1	
活動指標及び	活動	指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
活動実績(アウトプット)	II	ニュース ディー・ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー ディー				-	-	-	-
	た海外旅行のモデル数 数		当初見込	4 件	-	-	-	-	4
	算出	根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年月	度活動見込
単位当たり			単位当たりコスト	円	-	-	-		=
コスト	予算執行額/若者の意識 調査等を踏まえた海		. /	-	-	-		-	

			事業所管部局による点核	•改善	
			項目	評価	評価に関する説明
国費	事業の目的	は国民や社会のニース	でを的確に反映しているか。	0	次代を担う若者のアウトバウンド促進は、国際感覚の涵養や 国際相互理解の増進などを通して、我が国のグローバル化 にも資するものであり、旅行産業を含めた観光産業を担う人 材育成の観点からも重要である。
投入の必	地方自治体	、民間等に委ねること	ができない事業なのか。	0	インバウンドの急激な伸びと対照的にアウトバウンドが低迷しており、一部の国からは強い送客要請も発生している。この現状を踏まえ、本事業は、国が先頭に立ってアウトバウンド促進に取り組む必要がある。
要性	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	本事業による若者の海外体験促進は、国際感覚の涵養や 国際相互理解の増進などを通して我が国のグローバル化に 資するものであり、我が国の相互交流の拡大は、アウトバウ ンドのみならずインパウンドの拡大にも貢献する。
	競争性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。	-	
		競争契約、指名競争契 な札又は一者応募とな	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 ったものはないか。		
	競争性	生のない随意契約とな	ったものはないか。		
	受益者との1	負担関係は妥当である	か。	-	
	単位当たりコ	コスト等の水準は妥当	か。	0	本事業は、我が国の相互交流拡大に効果的なものである。
効率性	資金の流れ	の中間段階での支出し	は合理的なものとなっているか。	ı	
1111	費目・使途が	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	0	事業目的のみに必要な支出に限定されている。
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト	削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	ı	
事	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっているか。	-	
業の有		当たって他の手段・方: 氐コストで実施できてい	法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。	-	
効性	活動実績は	見込みに見合ったもの	つであるか。	-	
	整備されたが	施設や成果物は十分に	活用されているか。	-	
		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業 <i>0</i>	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 D右に記載)	1	
関	所管府省名	事業番号	事業名		
関連事					
業					
		T.			
点検	点検結果	_			
改善					
結	改善の	_			
果	方向性				
			外部有識者の所見		

# 行政事業レビュー推進チームの所見

若者の海外体験を促進するため、意識調査や効果的な旅行形態の調査等を踏まえた海外旅行のモデル創出を行い、その効果を広く発信することにより、より多くの若者が豊かな海外体験を享受できるよう、効果的・効率的な執行を図るべき。

### 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況


				備考				
			関連する過去のレ	ビューシー	トの事業番号			
平成22年度		平成23年度		平成2			平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成2	8年度			
平成29年度	※平成20年度宝績太影	コネ 劫行宝績が	ない新規事業、新規要求	車業につい	てけ羽時占で3-	<b>空わノメ―ごた記</b> λ		
資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円)	八   70年   70		観光/ 50百万 【随意契約(1 A. 民間1 49. 7百: デル事業を実施する 実施結果の報	宁 「円 企画競争) 企業 万円	まで 発見 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	・ル事業実施事業	PI I	
		A.		A 17		_	B.	A 17
	費目	使	途	金額(百万円)	費目	使	: 途	金額(百万円)
#0 #%								
費目・使途								
おいてブロックごとに最大の金額								
が支出されている者について記載								
する。費目と使途 の双方で実情が								
分かるように記 載)								
	計			0	計			0
		C.					D.	

			-	<del></del>	へた曲が	- <del></del>	+ ** .	1.5	5 I		<b>番号</b> 新		.5
	ı						事業レ	<u> </u>	ーシート	(	国土:	交通省	
事業名	AI (人:	工知能)等導.	入による旅	行サービス	スの高度化事業	ŧ	担当部	<b>移局庁</b>	観光庁			作月	<b>艾責任者</b>
事業開始年度	平成	3 1 年度	事業 (予定)	終了 )年度	平成334	年度	担当	課室	参事官(旅	行振興担当	)	永井 一浩	
会計区分	一般会	計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立	国推進基本	法第20约	条及び第	21条		関係 計画、	する <b>通知等</b>	観光立国技	推進基本計	·画		
主要政策·施策	観光立							経費	その他の事				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)		国人旅行者数 性化につなけ				ó中、AI	等導入によ	<b>⊧る旅行</b> ⁴	ナービスの高度	化を通じて観	見光を我が国の	基幹産業へと原	<b>戊長させ、地域経</b>
事業概要 (5行程度以内。 別添可)									る先行事例調査 まえ、モデル事			踏まえた高度・	化の方向性の整理
実施方法	委託•詢	請負											
				27	7年度		28年度		29年度		30年度	31	年度要求
		当初予	算		_		-		_		_		50
	_	補正予	算		_		-		-		_		
	予算の状	前年度から	繰越し		-		-		-		-		_
予算額・	況	翌年度へ	繰越し		-		_		-		-		
<b>執行額</b> (単位:百万円)		予備費	等		-		-		-		-		
(年四:日2011)		計			0		0		0		0		50
		執行額			0		0		0				
		 執行率(%	)		_		_		_				
		算+補正予					_					_	
	る執	は行額の割合 歳出予算 E		20年由	当初予算	2	11年度要3	<del>!:</del>			主な増減理	<u></u>	
	#		-	30牛房	-	3	50	r.			土は垣凞垤	<u> </u>	
	15,												
平成30:31年度		職員旅費		-		0.3							
予算内訳													
(単位:百万円)													
		 計			_		50						
	定	量的な成果	月標		成果指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度
成果目標及び		者が報告書			***************************************		/					- 年度	33 年度
成果実績(アウトカム)	きAI等	導入を実施	すること	報告書に	基づきAI等	道入	成果実績	社	-	_	-	-	-
(ア・フトガム)	を目指	す。(将来的 行業者等で	リには全		- 歴 プラス[寺/		目標値	社	-	-	-	-	3
	を目指	す。)	-4-45.6				達成度	%	-	_	_	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	計・データ名 モデル事業の対象とする想定の旅行業者の数												
活動指標及び			活動	 指標				単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
活動実績 (アウトプット)	高度化	に係る調査	レポート作	作成件数			活動実績	-	-	-	-	-	-
							当初見込み	-	-	-	-	-	1
			算出	根拠			HA (+ 1/1 · · ·	単位	27年度	28年度	29年度	30年月	度活動見込
単位当たり							単位当たりコスト	円	-	-	-		_
コスト	予算執行額/高度化に係る調査レポート件数				女	計算式	/	-	-	-		-	

			事業所管部局による点核	è∙改善	
			項目	評価	評価に関する説明
国費业	事業の目的	は国民や社会のニース	ぐを的確に反映しているか。	0	地方創生をはじめとする我が国が直面する重要な政策課題の取り組みの一環として、本事業の実施により、地方部への観光客が増加することが重要である。国内の観光資源の発掘による日本の魅力の発信で地方への外国人旅行者数が増加が見込まれることから、地方創生等に資するので、国民や社会のニーズを的確に反映している。
必要	地方自治体	、民間等に委ねること	ができない事業なのか。	0	地域の旅行サービス開発・提供主体(地方自治体等)は資金 に余裕がないため、地方自治体等に委ねることができない 事業である。
性	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	地方創生をはじめとする我が国が直面する重要な政策課題の取り組みの一環として、本事業の実施により、地方部への観光客が増加し地方創生に資することから必要かつ適切な事業であるので政策体系の中で優先度の高い事業である。
	競争性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。	-	
		競争契約、指名競争契 応札又は一者応募とな	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 ったものはないか。		
	競争怕	生のない随意契約とな	ったものはないか。		
事	受益者との1	負担関係は妥当である	か。	0	本事業は地方創生に資することが見込まれるため、受益者との負担関係は妥当である。
業の効率	単位当たり	コスト等の水準は妥当だ	<u></u> ბა°	0	地方創生のプレーヤーである日本の地方自治体、DMO等全体に資することから、コスト等の水準は妥当である。
性	資金の流れ	の中間段階での支出	<b>は合理的なものとなっているか。</b>	-	
	費目・使途だ	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	0	事業目的のみに必要な支出に限定されている。
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト	-削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	-	
事	成果実績は	成果目標に見合ったも	のとなっているか。	-	
業の		当たって他の手段・方 低コストで実施できてい	法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。	-	
有効性	活動実績は	見込みに見合ったもの	つであるか。	-	
i I	整備された	施設や成果物は十分に	活用されているか。	-	
		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業 <i>0</i>	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役) の右に記載)		
88	所管府省名	事業番号	事業名		-
連事					
業					
点	点検結果				
検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
改善結果	改善の 方向性				
			外部有識者の所見	ļ.	
			行政事業レビュー推進チー	ムの所見	₹

AI等導入による旅行サービスの高度化を通じ、観光を我が国の基幹産業へと成長させ、地域経済の活性化につながるよう効果的・効率的な執行を図るべき。

		所	f見を踏まえた改善。	点/概算要求	たにおける反映	<b>央状況</b>				
	<del></del>	<del></del>			<del></del>	<del></del>	<del></del>			
				備考						
			関連する過去の	)レビューシー	トの事業番号					
平成22年度		平成23年度		平成2	4年度		平成25年度	平成25年度		
平成26年度		平成27年度		平成2	8年度					
平成29年度	※亚成20年帝宝績を訂	□ 】 劫行宝結弁	がない新規事業、新規要		ナ け 明 吐 占 で 予	中やノく―ごを記入				
資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円)			A. J	観光庁 50百万円 【企画競争】 民間企業( 50百万円 係る調査レア	1社)		全に係る事務費 6 0.3百万円			
		Α		金額		— Т	B.	全 妬		
	費目			(百万円)	費目	(§	<b>吏</b> 途	金額(百万円)		
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」に										
おいてブロックごとに最大の金額										
が支出されている者について記載										
する。費目と使途の双方で実情が										
分かるように記載)										
4,447										
	=1			_	=1			_		
	費目・使途欄についる	てさらに記載が		クの上【別紙:	計 2】に記載	チェッ	ילע	0		

			ではっったは	ᇎᄼᆖᇎᇎ	<b>吉 兆</b> ı	L\$ _	S. I			31 - 002 六字少	24	`
			平成30年度	<b>[</b> 行以				(	- 上	交通省 	****	<u>)                                    </u>
事業名		ーター育成事業	t day 7		担当音		観光庁				成責任者	
事業開始年度	平成31年		<b>終了</b> !) <b>年度</b> 平成3	3年度	担当	課室	観光産業課	観光人材政	策室	参事官田	l村 寿浩	
会計区分	一般会計											
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推 第16条、第2				関係計画、		観光ビジョ	ン実現プロ	グラム2018			
主要政策・施策	観光立国、均	也方創生			主要	経費	その他の事	項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 に。3行程度以 内)	等に比べて、	日本における旅行	イド人材の不足により 〒消費支出に占める娘 ガイド人材(ナビゲーク	呉楽サービ	ス費の割合	は特に	小さい状況を踏	まえ、地域の	魅力あるテー	マの観光資源	について、ケ	
事業概要 5行程度以内。 別添可)			の観光資源について、 デルツアーを実施する							r — スを構築す	るため、ガィ	イドに
実施方法	委託·請負											
			27年度		28年度		29年度		30年度	3	1年度要求	
		当初予算	-		-		_		-		70	
	:	補正予算	-		-		-		-			
		度から繰越し	-		-		-		-		-	
予算額・	の状況翌年	度へ繰越し	-		_		_		_			
<b>執行額</b> 単位:百万円)		予備費等	-		-		-		-			
年位・日ガロ/		計	0		0		0		0		70	
	執	 行額	-		_		_					
	執行率(%)		_		_		-					
	当初予算+補正予算に対す		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!			_		
		の割合(%) 予算目	30年度当初予算	ī :	31年度要求	₹ I	#B1V/ 0:		主な増減理	<u> </u>		
		<del></del> 興調査費	-		69				T-0-1/2-1	- н		
<sup>Z</sup> 成30-31年度		等旅費	_		0.5							
予算内訳 単位:百万円)	概 	員旅費	_		0.3							
TE: H3117	諸	謝金	-		0.2							
		計	-		70							
	定量的危	な成果目標	成果指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終 33 3	終年 年度
<sup>【果目標及び  </sup> 成果実績	外国人対応	可能な体験型			成果実績	人	-	-	-	_		
(アウトカム)	観光を担うた	ブイド人材を120	外国人対応可能な 観光を担うガイド数		目標値	人	-	-	-	-	120	0
	人育成する。			•	達成度	%	-	_	-	-		
機 機 ・データ名 (出典)		可能な体験型額	見光を担うガイド数(	観光庁調	べ)		•		1	1	1	
	定量的机	は成果目標	成果指標	!		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終 33	終年 年度
成果目標及び 成果実績	選定した地域		22 - 1 L LL L 1 / 1 - 1	¥ d+ 10 \	成果実績	%	-	-	-	-		
(アウトカム)	における訪日	日外国人旅行	選定した地域(都道 における訪日外国		目標値	%	-	_	_	_	10	)
	老の訪問窓を10%引き L	における訪日外国人旅行   者の訪問率	達成度	%	_	_	_	_				
拠として用いた			<u> </u> 」の資料中、第123				1	1	1	I	1	

単位当たり コスト 政策	活動指標 構築したモデルケースの数 算出根拠 予算額/構築したモデルケースの数 6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の研	活動実績当初見込み単位当たりコスト	単位 件 件 単位 円	27年度 - - 27年度	28年度 - - - 28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込				
単位当たり コスト 政策	算出根拠 予算額/構築したモデルケースの数	当初見込み単位当たりコスト	件単位	-	-	- 29年度						
政策	予算額/構築したモデルケースの数	単位当たりコスト	単位	27年度	28年度	29年度						
政策	予算額/構築したモデルケースの数	コスト		27千及	20千皮	23417		度活動見込				
政策			1 1				3041	支心到兄还				
	   6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の研		/									
施策	<b>6</b> 20 観光立国を推進する											
	20 観光立国を推進する											
	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	32 年				
	訪日外国人旅行者数	実績値	万人	1,974	2,404	2,869	-					
		目標値	万人	-	-	ı	-	4,000				
	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標年 32 年				
	訪日外国人旅行消費額	実績値	兆円	3.5	3.7	4.4						
政策評価	W - 11 EVAN 13 M PC M	目標値	兆円	-	-	-	-	8				
定   症   指   標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年月 32 年				
	地方部での外国人延べ宿泊数	実績値	万人泊	2,514	2,753	3,266						
		目標値	万人泊					7,000				
	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年月 32 年				
	外国人リピーター数	実績値	万人	1,159	1,426	1,761						
		目標値	万人					2,400				
	本事業	の成果と上位	施策·測	定指標との関	係							
達成	業を通じて、各地域の魅力ある観光資源を掘り起こす に寄与する。	とともに、その	魅力につ	いて情報発信	言するガイド	を育成するこ	とは、上記施	まにおける				
改革項目	分野:											
第 <sub>K</sub>	KPI (第一階層)		単位	計画開始時年度	29年度	30年度	中間目標年度	目標最終:				
l lass P		成果実績										
ク  層・  シ経  <sup>*</sup>	<u> </u>	目標値 達成度	%									
3済   ン・  ・財	KPI (第二階層)	连队反	単位	計画開始時	29年度	30年度	中間目標	目標最終				
プログラム (第二階層)	(オー四月)	成果実績		年度			年度	年				
グ生 階ピ	<b> </b>  -	目標値										
		達成度	%					·				
	本事	エー なまの成果とは	<b>女革項目・</b>	KPIとの関係			1					

			事業所管部局による点核	è·改善	
			項目	評価	評価に関する説明
	事業の目的	は国民や社会のニース	ぐを的確に反映しているか。	0	訪日外国人旅行者が求める地域での対人コミュニケーション 不足や魅力的な体験型観光を担うガイド人材が不足してお り、外国人の地域滞在の満足度が低い状況であるため、本 事業により、訪日外国人旅行者の地域における体験滞在の 満足度向上や各地域における消費額の増加を図ることは、 地域振興にも寄与するものであり、国民や社会のニーズに 即したものである。
国費投入の必要性	地方自治体	、民間等に委ねること	ができない事業なのか。	0	各地域において、外国人対応可能な体験型観光を担うガイド人材を育成するためには、個々の民間事業者や自治体では研修ノウハウもなく、リスクを負担しきれない可能性が高い。また、各地域においてテーマナビゲーターを育む・確保していくためには、育成する研修ノウハウを確立し、それを各地域に展開していく方がより効率的であるため、国が行う必要がある。
	政策目的の 事業か。	達成手段として必要か	つ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い	0	訪日外国人旅行者が求める地域での対人コミュニケーション 不足や魅力的な体験型観光を担うガイド人材が不足してお り、当該事業を通じて、地域の魅力あるテーマを伝えるガイド を育成することは、訪日外国人旅行者の滞在満足度の向上 や消費額の増加等につながるものであり、政策目的の達成 手段として必要かつ適切な事業である。
	競争性が確	保されているなど支出	先の選定は妥当か。	-	
		競争契約、指名競争契 応札又は一者応募とな	約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 ったものはないか。		
	競争怕	性のない随意契約とな	ったものはないか。		
事業	受益者との?	負担関係は妥当である	か。	-	
の効	単位当たり	コスト等の水準は妥当	か。	-	
率件	資金の流れ	の中間段階での支出し	ま合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途だ	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大	きい場合、その理由は	妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト	-削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。	-	
事	.,,	成果目標に見合ったも		-	
の	444 71.11	当たって他の手段・方法 低コストで実施できてい	法等が考えられる場合、それと比較してより効果 いるか。	-	
有効性	活動実績は	見込みに見合ったもの	つであるか。	-	
11±	整備された	施設や成果物は十分に	- 活用されているか。	-	
		業がある場合、他部局 体的な内容を各事業 <i>0</i>	・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 D右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名		
連連					
事業					_
					-
					-
点 検	点検結果				
改善					
結果	改善の 方向性				
				ļ.	

# 行政事業レビュー推進チームの所見 地域の魅力あるテーマの観光資源について、外国人対応可能な体験型観光を担うガイド人材を育成することにより、地域での体験滞在の満足度 向上を図れるよう、効果的・効率的な執行を図るべき。 所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況 備考 関連する過去のレビューシートの事業番号 平成22年度 平成23年度 平成24年度 平成25年度 平成26年度 平成27年度 平成28年度 平成29年度 ※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。 観光庁 委員等旅費、職員旅費、諸謝金 1百万円 70百万円 地域の魅力あるテーマの観光資源について、 外国人対応可能なガイド人材(ナビゲーター) を育成・活用するモデルケースを構築すること により、地域での体験滞在の満足度向上を図 【随意契約(企画競争)】 【随意契約(企画競争)】 A 民間会社 69百万円 資金の流れ (資金の受け取 り先が何を行っ ているかについ て補足する) (単位:百万円) ・ナビゲーターを育成する地域の魅力あるテー マを選定。 ・育成するナビゲーターを募集、研修実施 ・育成したガイドを活用したモデルツアーを実施 ・事業の効果検証・取りまとめ

		A.			B.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目・使途						
(「資金の流れ」に						
おいてブロックご とに最大の金額						
が支出されている 者について記載 する。費目と使途						
する。費目と使途の双方で実情が						
分かるように記 載)						
#A /						
	計		0	計		0
	費目・使途欄に	ついてさらに記載が必要な場合はチェック	クの上【別紙	2]に記載	チェック	

# 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								

В

支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1							

# 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法 人 番 号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1									

		8. 1			31 - 002 た客心	· ·			
		平成30年度行				(	国工の	交通省	<u>)</u>
事業名	G 2 0 観光大臣会合開催経費	.45 -	担当音	杨厅	観光庁			作	<b>战責任者</b>
事業開始年度	平成31年度 (予定	<b>終了</b> () <b>年度</b> 平成31年	F度 <b>担当</b>	課室	参事官室			参事官 町	田倫代
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推進基本法第18	<b></b>	関係 計画、		観光立国推	進基本計画	画		
主要政策・施策	観光立国		主要	経費	その他の事	項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	G20観光大臣会合(大臣級)を しG20国間の相互連携協力を	<b>歯化すると共に、我が国</b> に	こおいて開催する	ことで国	]際観光振興への	)貢献を図るも	のである。		_
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	G20サミット(「金融・世界経済! 毎年開催される国際会議であ 会合を初開催した。本会合では 課題について議論を行う。本事	る。観光分野においては、 は、G20参加メンバーの観	観光が世界経済 光関係閣僚等が-	の成長 一堂に会	に向けた重要なな 会し観光業の強化	柱の一つであ ヒ、経済成長ヘ	ることに鑑み、	2010年2月。	よりG20観光大臣
実施方法	直接実施、委託・請負								
		27年度	28年度		29年度		30年度	3	1年度要求
	当初予算	-	-		-		_		193
	補正予算	-	-		_		_		
	予算 前年度から繰越しの状 羽ケ 第一条 は は は	-	-		_		-		0
予算額・	別   翌年度へ繰越し	-	-		-		-		
<b>執行額</b> (単位:百万円)	予備費等	-	_		-		-		
(44.4311)	計	0	0		0		0		193
	執行額								
	執行率(%)	-	-		-				
	当初予算+補正予算に対す	-	_		_				
	る執行額の割合(%) 歳出予算目	30年度当初予算 31年度		₹ .			主な増減理	#	
	庁費	-	181	1	観光分野に係る	る国際的枠組	みを活用して	て本事業を推	進するため増額
	───── 職員旅費	_	12	12					
平成30-31年度 予算内訳 (単位:百万円)									
	計	-	193						
	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度 32 年度
成果目標及び 成果実績	会合の実施によりG20国		成果実績	万人	. 1,974	2,404	2,869	-	_
(アウトカム)	等関係国との観光交流の	訪日外国人旅行者数	目標値	万人	. –	-	_	_	4,000
	増大に貢献する。		達成度	%	-	-	_	_	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	出典:日本政府観光局(JN https://www.jnto.go.j	TO)訪日外客統計 p/jpn/statistics/data_i	nfo_listing/index	k.html					
	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度 29年度		中間目標	目標最終年度
成果目標及び	た 主 こう の 次 八 日 が	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						- 年度	32 年度
成果実績	会合の実施によりG20国		成果実績	兆円		3.7	4.4	-	-
(アウトカム)	等参加国との観光交流の 増大に貢献する。	訪日外国人旅行消費		兆円	-	-	-	-	8
			達成度	%	-	-	-	-	_
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	出典: 観光庁 訪日外国人》 http://www.mlit.go.jp	肖費動向調査 /kankocho/siryou/touk	kei/syouhityous	a.html					

			定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度
成果目4	標及	とび			成果実績	%	26.1	28	27.8	-	-
成果!			実施する国際会議の増大	アジア主要国における国際 会議の開催件数に占める	目標値	%	-	_	-	-	30
			に貢献する。	割合	達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)											
			定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標最終年原31 年度
<b>戊果</b> 目	標及	とび			成果実績	件	-	-	-	-	-
成果!		۵) ا	G20各国の観光大臣等の 国際機関代表者が議論の	とりまとめた共同宣言(報 告書)の数	目標値	件	-	-	-	-	1
			成果を共同宣言としてとり まとめ、発信する。	百香/の数	達成度	%	-	-	-	-	-
拠として 統計・デ (出)	<u>-</u> -	外名	-								
舌動指	標及		<del></del>	指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
活動実績(アウトプット)		<b>能</b> 小)	G20観光大臣会合の開催		活動実績	回	-	-	-	-	1
		•	G20 8,707 E A G 07 7/17 E		当初見込み	□	-	-	-	-	-
算出村				根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年月	度活動見込
単位当たりコスト		IJ		単位当たりコスト	百万円	-	-	-		_	
	<b>\1</b>		要求額 / 開	間催会合の件数	計算式	百万円/件	-	-	-		-
fr fr		政策	6 国際競争力、観光交流、	広域・地域間連携等の確保	•強化						
文 を 手 西	ŀ	施策	20 観光立国を推進する								
· ·	-		中里	<b>的指標</b>		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標年度
<b>*</b>			<b>人里</b> 。	が旧伝		単位	27牛皮	20十段	294段	- 年度	32 年度
†    ¢  }			ᆉᄆᇦᄝᆚᇄᄼᆂᄥ		実績値	万人	1,974	2,404	2,869	-	-
E I made	女是		訪日外国人旅行者数		目標値	万人	-	-	-	_	4,000
で策評価	ij	測定指標	定量的	的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標年度 32 年度
ĵ			訪日外国人旅行消費額		実績値	兆円	3.5	3.7	4.4	_	-
<i>f</i>			10.7 日77日人派11月頁領		目標値	兆円	-	-	-	_	8
5				本事業の原	成果と上位	ェ施策•測:	定指標との関	<b>月</b> 係			
順系	-			かず木の!	~~C		~ 」ローボ こ リノド	21/10			

	事業所管部局による点検・改善										
			項目		評価	評価に関する説明					
国費	事業の目的	は国民や社会のニー	ズを的確に反映しているか。			G20等主要国の観光担当閣僚が国際観光分野における課題解決に向けた率直な意見交換を行い、議論の成果を我が国の観光政策に反映することは、我が国の観光分野の課題の解決に資することから、国民や社会のニーズに合致している。					
投入の必要	地方自治体	、民間等に委ねること	ができない事業なのか。		0	G20観光大臣会合は、我が国が各国の観光大臣を対象として開催する会合であり、国が積極的に実施すべき事業である。					
性	政策目的の 事業か。	達成手段として必要だ	<b>いつ適切な事業か。政策体系の中で</b>	0	2019年(平成31年)は、我が国がG20サミットの議長国であり、G20等主要国の観光担当閣僚が率直な意見交換を行うなかで、国際観光分野における課題解決に向けて、我が国のリーダーシップを発揮することができるため重要な事業である。						
	競争性が確	保されているなど支出	出先の選定は妥当か。								
		競争契約、指名競争契 な札又は一者応募とな	2約又は随意契約(企画競争)による こったものはないか。	支出のうち、							
	競争性	生のない随意契約とな	こったものはないか。								
	受益者との1	負担関係は妥当である	るか。								
業の	単位当たりコ	コスト等の水準は妥当	か。								
効 率	資金の流れ	の中間段階での支出	は合理的なものとなっているか。								
性	費目・使途が	が事業目的に即し真に	必要なものに限定されているか。								
	不用率が大	きい場合、その理由に	は妥当か。(理由を右に記載)								
	繰越額が大	きい場合、その理由に	は妥当か。(理由を右に記載)								
	その他コスト	削減や効率化に向け	た工夫は行われているか。								
事	成果実績は	成果目標に見合った。	ものとなっているか。								
		当たって他の手段・方 氐コストで実施できてし	法等が考えられる場合、それと比較 いるか。	してより効果							
有効性	活動実績は	見込みに見合ったもの	りであるか。								
旺	整備された	施設や成果物は十分に	こ活用されているか。								
	関連する事: 割分担の具	業がある場合、他部局 体的な内容を各事業(	る・他府省等と適切な役割分担を行っ の右に記載)	っているか。(役							
	所管府省名	事業番号	事業名								
関連											
事業											
点検	点検結果										
改											
善結果	改善の 方向性										
			. I den								
			外部	有識者の所見							

# 行政事業レビュー推進チームの所見

議長国として観光分野の世界的な課題について議論をリードしG20国間の相互連携協力を強化すると共に、我が国の観光立国に向けた一層のプレゼンス強化を図れるよう、万全な準備及び会議運営を行うとともに、効果的・効率的な執行を図るべき。

		所.	見を踏まえた改善	点/概算要求	たにおける反	<b>央状況</b>		
				備考				
			関連する過去の	ンレビューシー	トの事業番号			
平成22年度		平成23年度			4年度		平成25年度	
平成26年度		平成27年度		平成2	8年度			
平成29年度	▮※平成29年度宝	績を記入。執行実績が	ない新規事業 新規要	東東軍業につい	てけ現時占です	テカイメージを記入		
<b>資金の流れ</b> (資金の受け、 (資金のでを行い、 (単位: 百万円)			(G20観光大実連絡調整 「随意 「G20観光	型光庁 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	職員 職員 職員 職員 係機関との 動	旅費 12百万 )		
		A.		金額			B.	金 額
	費目	使	<b>途</b>	(百万円)	費目	惊	<b>途</b>	(百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者についてもませる。費目と使がの双方で実情が分かるように記載する。								
	計			0	計			
	』 費目・使途欄に	ついてさらに記載が	必要な場合はチェッ		2]に記載	チェッ	ク	<u>l</u>

### 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								

В

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
	支出先上位10	チェック						

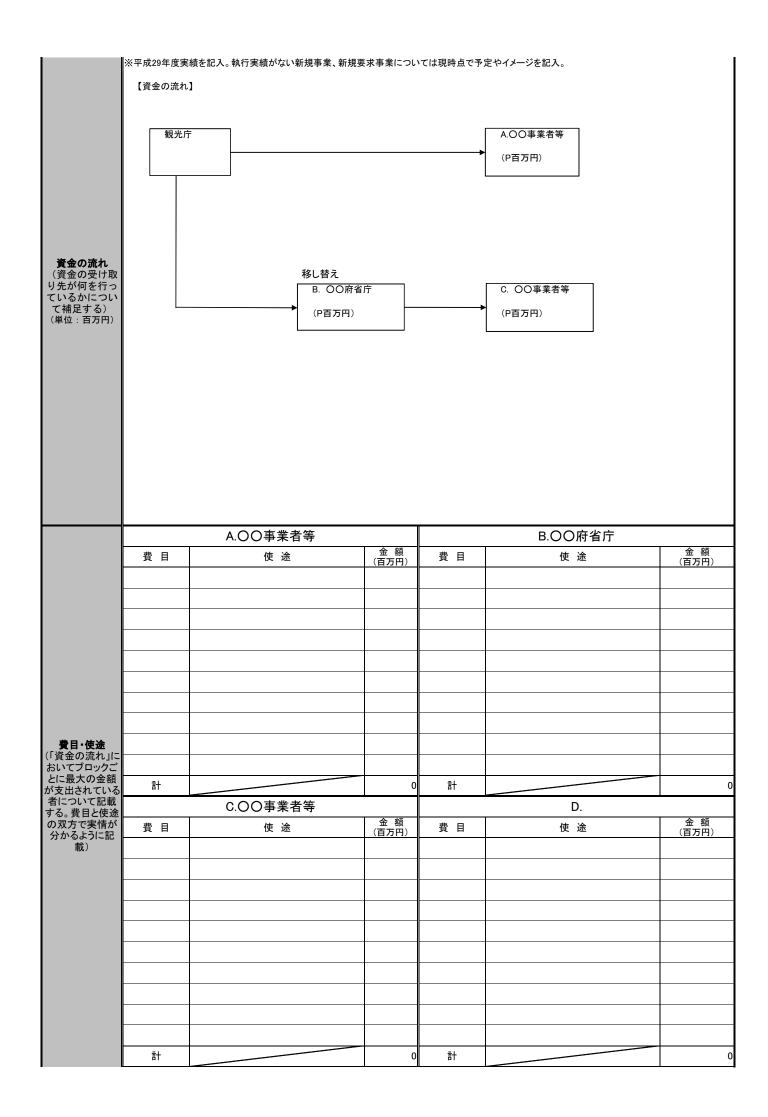
### 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1									

			+		1 9			<b>在号</b> 新		0	
	国際組业技を発えば		成30年度行 版次元な観光施策の展開				(	国土:	<u>交通省</u>	)	
事業名	国際観光旅各税を活 際観光旅客税財源充	当事業)		担当	部局庁	観光庁			作用	<b>戊責任者</b>	
事業開始年度	平成31年度	事業終 (予定):	字 終了予定7	なし 担!	当課室	総務課			課長 加藤	進	
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	観光立国推進基本 国際観光振興法12				系する 通知等	観光ビジョ 経済財政選 未来投資単	ン実現プログ 軍営と改革の 鉄略2018	の基本方針		方針等につ	)L\-
主要政策・施策	観光立国、地方創	生		主	要経費	その他の事	項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	め、政府一丸、官民	を挙げて取り	ン」においては、2020年 組むこととされていると 観光立国実現に向けた	ところ、観光促進	のための	税として平成31:					
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	備、2. 我が国の多村上、という3分野への 2. 先進性が高く費用を基本とした施策を対	様な魅力に関 )財源を充当で 用対効果が高 対象とし、観光	基本方針等(平成294 する情報の入手の容が する。その際、既存施 い取り組みであること、 光庁主導の下、各省各 基づき、観光財源を充	易化、3. 地域固 策の財源の単な 、3. 地方創生を 庁等の関係機関	有の文化る穴埋めるはじめとするが連携し	、自然等を活用をするのではない する我が国が直 て事業を推進す	した観光資源 く、1. 受益と負 面する重要な 「る。	の整備等によ 負担の関係かり 政策課題に合	る地域での観ら負担者の納役 対すること、と	光体験の満足 計が得られるこ いう3つの考え	足度 にと、 え方
実施方法	委託•請負、補助、	負担、交付									
			27年度	28年度		29年度		30年度	31	年度要求	
	当初予	算	-	-		_		-		48,000	
	補正予	算	-	-		_		-			
	予算前年度から	緑越し	-	-		_		-		0	
予算額·	の状 翌年度へ	繰越し	-	-		-		-			
<b>執行額</b> (単位:百万円)	予備費	<b>登等</b>	-	_		-		-			
( <del>+</del> 2.071)	計		0	0		0		0		48,000	
	執行額		0	0		0					_
	執行率(%	)	-	_		_					_
	当初予算+補正予		_	_							_
	る執行額の割合 歳出予算目		30年度当初予算	31年度要	求			主な増減理	曲		
	(目未定経費			48,000					. <u></u>		
平成30·31年度 予算内訳 (単位:百万円)											
	計		-	48,000	)						
***********	定量的な成果	目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年	年度
成果目標及び 成果実績				成果実績	<b>万人</b>	1,974	2,404	2,869	-	_	
(アウトカム)	訪日外国人旅行者 万人達成(2020年)		<b>5日外国人旅行者数</b>	目標値	万人		_		-	4,000	
				達成度	%	-	-	-	-		
関拠として用いた 統計・データ名 (出典)			政法人 国際観光振 atistics/data_info_lis			局/JNTO)					
AB 0 45 7 **	定量的な成果	目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年	年度
成果目標及び 成果実績	-11	v		成果実績	責 兆円	3.5	3.7	4.4	-		
(アウトカム)	訪日外国人旅行消 円達成(2020年)	i費額8兆	5日外国人旅行消費	額 目標値	1 兆円	-	-	-	-	8	
	1,21%(2020-7)			達成度	%	-	-	-	-		
					_						

			定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標最終年度
	目標. 表現実				成果実績	万人泊	2,514	2,753	3,188	-	-
	ウトカ		地方部での外国人延べ宿 泊者数7,000万人泊達成	地方部での外国人のべ宿 泊者数	目標値	万人泊	-	-	_	-	7,000
			(2020年)	78 12	達成度	%	-	-	-	_	-
統計	として月 ト・デー (出典)	夕名	「宿泊旅行統計調査」 出典	:観光庁 http://www.mlit.go	.jp/kankoo	cho/siryo	u/toukei/shu	ukuhakutouke	ei.html		
c#: EE	1 C 45	TL + ¢	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 年度	目標最終年度 32 年度
成	<b>目標</b> 果実	續	하다 사람 나나의 수 %		成果実績	万人	1,159	1,426	1,761	_	-
()	ウトカ	<b>ム</b> )	訪日外国人リピーター数 2,400万人達成(2020年)	訪日外国人リピーター数	目標値	万人	-	-	-	-	2,400
Jan Jian I	:	<b></b>			達成度	%	_	_	_	_	_
統計	としてF ・デー (出典)	·タ名 )		」出典:観光庁 http://www							
	成	果目相	<b>屢及び成果実績(アウトカム)</b> ■	欄についてさらに記載が必	要な場合に	はチェック	の上【別紙1	』に記載	チェッ		01 左座
			活動	指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
泪	加指標. 動実:	瞔	事業内容については、観光		活動実績	-	-	-	-	-	-
(ア	ウトプ	ット)	スにおいて、民間有識者の 成過程で検討を行うとされて 業指標及び活動実績を記載	こいることから、現時点で事	当初見込み	-	-	-	-	-	-
			算出	根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年月	度活動見込
	位当た	-9			単位当たりコスト	_	-	-	-		-
						_	-	-	-		-
		政策	6 国際競争力、観光交流、 	広域・地域間連携等の確保	·強化						
		леж	20 就几立国己证定,6							中間目標	目標年度
政			定量的	内指標 ————————————————————————————————————		単位	27年度	28年度	29年度	年度	32 年度
策評価、			訪日外国人旅行者数		実績値	万人	1,974	2,404	2,869	-	-
経済・					目標値	万人	ı	_	ı	_	4,000
財政再			定量的	<b>为指標</b>		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 32 年度
財政再生アクション・	政策評		訪日外国人旅行消費額		実績値	兆円	3.5	3.7	4.4	-	-
ション	価	測定	的自然自然的形象战		目標値	兆円	-	-	-	-	8
・プロゲ		定指標	定量的	<b>内指標</b>		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 32 年度
プログラムとの			地方部での外国人延べ宿泊	3者数	実績値	万人泊	2,514	2,753	3,188	-	_
の関係					目標値	万人泊	-	_	-	-	7,000
DK			定量的	<b>为指標</b>		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標年度	目標年度 32 年度
			外国人リピーター数		実績値	万人	1,159	1,426	1,761	-	_
					目標値	万人	-	_	-	-	2,400

				事業所管部局による	点検・改善	善		
			項		評	画	評	価に関する説明
国費投入	事業の目	的は国民や社会のニース	ぐを的確に	反映しているか。	0		な目標を掲げ、これらの 増加する観光需要に対	000万人、2030年6,000万人等の大き 確実な達成のためには、今後さらに し、恒久的な財源である国際観光旅 光施策に充当し、観光立国実現に向 強化を図る必要がある。
入の必要性		体、民間等に委ねること			0	•	る観点から、観光財源を	確化し、予算の整合性の確保等を図 ・充当する具体的な施策・事業につい ・た上で、関係省庁に移し替えて執行
	政策目的 事業か。	の達成手段として必要か	つ適切な	事業か。政策体系の中で優先度の	高い〇	)	同上	
	競争性が	確保されているなど支出	先の選定	は妥当か。				
		般競争契約、指名競争契 者応札又は一者応募とな		意契約(企画競争)による支出のうたないか。	5.			
	競	争性のない随意契約とな	ったものは	ないか。				
事業	受益者と	の負担関係は妥当である	か。					
の	単位当た	りコスト等の水準は妥当	か。					
効率性	資金の流	れの中間段階での支出し	は合理的な	にものとなっているか。 				
	費目・使	金が事業目的に即し真に	必要なもの	)に限定されているか。				
	不用率が	大きい場合、その理由は	妥当か。(	理由を右に記載)				
		大きい場合、その理由は						
		スト削減や効率化に向け						
事		は成果目標に見合ったも						
の								
有効	活動実績	は見込みに見合ったもの	であるか。	,				
性	整備され	た施設や成果物は十分に	活用され	ているか。				
関連		事業がある場合、他部局 具体的な内容を各事業の		を適切な役割分担を行っているか。 ;)	。(役			
事業	所管府省	名 事業番号		事業名				
点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	点検結	<b>果</b>						
結果改	改善の							
善	方向性				) 計 目			
				71 HP F3 MP E3 WP E3 WP				
				行政事業レビュー推進	チームのF	听見	<u>!</u>	
				光戦略実行推進タスクフォースにお 観光旅客税が無駄なく活用されるが				、予算編成過程で検討を進めていく き。
				所見を踏まえた改善点/概算要	要求におけ	·る.	<b>支映状況</b>	
				備考				
				関連する過去のレビューシ	ノートの事業	播	号	
平成2	2年度		平成23年	度平凡	戊24年度		ম	<sup>1</sup> 成25年度
平成2	6年度		平成27年	<b></b> 平	戊28年度			
平成2	9年度							



費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載	チェック	,	
--------------------------------------	------	---	--

### 支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法人番号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

### 国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック 名	契 約 先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									